

令和6年度全国学力・学習状況調査(6年生)の結果について

4月に6年生を対象に行われた、全国学力・学習状況調査（国語・算数）の結果をお知らせします。この結果は学力の全てではなく一部です。しかし、学校では、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

国語

- ◇全国平均をやや上回っています。特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の正答率が全国に比べて高くなっています。
- ◇授業において、相手の話をしっかり聞き、言葉で伝え合う交流活動や、自分の考えを書き表したりする活動に意欲的に取り組んでいる成果と考えます。また、毎日の家庭学習、週末課題・月末課題をはじめとして、家庭学習で取り組んでいることが、基礎・基本の定着にも役立っていると考えます。

算数

- ◇全国平均を上回っています。特に、「数と計算」「データの活用」の領域において、正答率が高くなっています。また、「知識・技能」における正答率も高くなっています。
- ◇授業において、神興小学校独自の学習展開「予習➤チャレンジ➤交流➤ふり返り」に取り組んでいることが効果的に働き、児童が自分の考えをもち授業に参加している成果と考えます。また、週末課題・月末課題・マイスケスタディやチャレンジウィークなどにより、計画的に学習に取り組む力が身につけてきたことも大きな要因であると考えます。

児童質問紙

- ◇「朝食を毎朝食べていますか」の項目については、全国平均とほぼ同じです。神興小学校では以前から食育に取り組んできたため高い数値であり、「寝る時間・起きる時間」の数値も全国と変わらず、子ども達の生活習慣が整ってきています。引き続き、ご家庭での取り組みをお願いいたします。
- ◇「自分にはよいところがある」という項目では、全国平均とほぼ同じです。学校の中で学び合いや、協働的な活動や友だちとのかかわりの中で、互いの良さを認め合い、自分に自信を持つことができている児童が増えていると考えます。
- ◆「将来の夢や目標を持っている」という項目では、全国平均をやや下回っています。これは、学習や生活で具体的な目標を児童に持たせ、取り組んでいくことで達成感や次への意欲を持たせていきたいと考えています。
- ◇「平日の家庭学習時間1時間以上」の項目については、全国平均とほぼ同じで、チャレンジウィークやマイスケジュールの取り組みで、計画を立てて勉強したり、家庭での声掛け等をしていただくことで、子ども達ががんばっていることがわかります。
- ◇「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」についても、全国平均とほぼ同じです。また、学校・家庭でのいじめ防止への規範教育が子どもたちへの意識の高さにつながっています。しかし、いじめは集団で生活する中で起こってくるものであるため、学校と家庭と連携して未然防止、早期発見・早期解決に取り組

り組んでいきます。

◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、全国とほぼ同じです。これは、学校の中で縦割り掃除を行い、高学年が低学年の世話をしたり、学級活動で学級をよくするために働いたりする活動を行ってきた成果だと考えています。

◆「地域や社会をよりよくするために、何かしたいと思いますか」では、全国平均を下回っています。地域との関わりについては、教育課程に位置づいていない部分もあるので、総合的な学習の時間を見直し、積極的に関わっていけるような授業づくりに取り組んでいきたいと考えています。

全体考察

◇今回の全国学力学習状況調査から、本校児童の学力が向上していることがわかりました。今後も、授業での学び合い活動を行ったり、課題意識を持って学習に取り組めるように課題や解決方法を選んだりするなど、児童が主体的に取り組めるように授業づくりを行っていきます。

今の状態を維持継続していけるように、これまで積み上げてきた食育の取組を引き続き行うとともに、今年度の重点目標「自分がつくる、仲間と作る、楽しい神興小学校」を進め、子ども達が主体的に学び続ける学校づくりを行ってまいります。

地域、保護者の皆様におかれましては、学校を核としながら地域全体で子ども達を育てていけるように引き続きのご理解とご協力をお願い致します。